

# あらかわ 区議会だより

No. 253

平成31年4月12日

平成 30 年度定例会 2月会議号



## おもな内容

2ページ 議会活動

会議の概要

会派の名称変更

3ページ 区政のここをきく

10ページ 委員会活動の報告

13ページ 採択した請願・陳情

区長の施政方針説明

14ページ 予算審査の概要

15ページ 主な総括質疑

16ページ 予算に対する討論

19ページ 議案の審議結果

20ページ 視察受入報告

平成30年度視察受入総括

## 議会活動

平成30年12月22日～平成31年3月31日

1月9日

- 総務企画委員会
- 福祉・区民生活委員会

1月10日

- 文教・子育て支援委員会
- 建設環境委員会

1月16日

- 震災・災害対策調査特別委員会  
(区外視察)

1月22日

- 財政援助団体調査特別委員会

1月23日

- 震災・災害対策調査特別委員会

1月29日

- 議会運営委員会

2月1日

- 総務企画委員会
- 福祉・区民生活委員会

2月4日

- 文教・子育て支援委員会
- 建設環境委員会

2月12日

- 健康・危機管理対策調査特別委員会

2月13日

- 議会運営委員会

2月14日

- 本会議

2月19日

- 本会議

2月20日

- 総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

2月21日

- 文教・子育て支援委員会
- 建設環境委員会

2月25・27・28日

3月4・5日

- 予算に関する特別委員会

3月7日

- 本会議

3月7・8・11日

- 予算に関する特別委員会

3月12日

- 福祉・区民生活委員会

3月13日

- 議会運営委員会

3月14日

- 本会議

3月27日

- 文教・子育て支援委員会

3月28日

- 健康・危機管理対策調査特別委員会

太字は2月会議期間中です。



## 2月会議の概要

### ～平成31年度一般会計予算ほか3特別会計予算を可決～

平成30年度荒川区議会定例会・2月会議は、2月14日から3月14日までの29日間の会議期間で開かれました。

区長の平成31年施政方針説明の後、本会議では、9名の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました（要旨は3～9ページに掲載しています）。

2月会議では、議案30件が提出されました（議案の審議結果は19ページに掲載しています）。

このうち平成31年度予算4件は、予算に関する特別委員会を設置して審査を行いました（予算審査に関する詳しい内容は14ページに掲載しています）。

## 会派の名称変更

平成31年3月4日付で「荒川区改革の会」の会派名が「自由民主の会」に変更となりました。



▲2月会議での区長答弁の様子

# 区政のここをきく

## 一般質問要旨



日暮里駅南口の整備とインフルエンザ予防接種について

小坂 眞三 (自民党)

### 日暮里駅南口の整備について

**問** 日本のインバウンド需要がますます高まる中、東京の玄関口でもある日暮里駅にも、以前にも増して旅行客の姿を見かけるようになった。こうした状況を踏まえ、日暮里駅北口ではスロープが設置され、次は、エスカレーターの設置に取り掛かる段階と思われる。一方南口周辺については、新たな宿泊施設も開業し、ほど近い日暮里繊維街においても外国人観光客の姿が目立つようになっており、平成28年度定例会・2月会議において、「エレベーターの設置などのバリアフリー化を基本とした整備を2020年までに実施したい」との答弁があったが、その後の進捗状況はどうか。関係機関との協議が大変重要になると考えるが、利用者の利便性にもつながる日暮里駅南口のバリアフリー化の現状について、区の見解を問う。

**答** 日暮里駅南口に架かる紅葉橋については、これまでJR東日本及び京成電鉄と協議を重ね、様々な検討を行ってきた。その結果、このバリアフリー化整備を行うには、橋の一部を撤去し、仮設道路を設置する等の措置を講じる必要があることが明らかとなり、また、現在日暮里駅では様々な工事のため、利用者には迂回措置等の不便が生じている。こうしたことから、JR東日本より申し出があり、これまで以上に工事が輻輳することから、施工は延期せざるを得ないものと考えている。今後は、駅構内の整備状況を注視しつつ、引き続きJR東日本及び京成電鉄と協議を行っていくと共に、エスカレーター設置についても検討を行う等、バリアフリー化の実施に向け鋭意取り組んでいく。



◀日暮里駅南口の様子

### 子育て支援に手厚い荒川区…インフルエンザ予防接種について

**問** 今年は、インフルエンザが大流行しており、国は、手洗いやマスクの着用など予防を徹底するよう呼びかけているが、これだけ蔓延しているとそれだけでは不十分であり、インフルエンザ脳症のような重症化を防止するために、予防接種の利用を広く推奨する仕組みをとることはできないだろうか。予防接種を受けても完全に予防することは難しいことは理解しているが、仮に罹患したとしても、重症化予防だけでも十分意義があるのではないか。現状では、予防接種の費用による各家庭の経済的な負担は大きく、二の足を踏んでいる家庭も多い。様々な子育て環境の整備を先進的に実施してきた荒川区として、子どもに対するインフルエンザの予防接種費用の助成に向けた環境整備を推進していくべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 子どものインフルエンザについては、ワクチンを接種しても完全に防ぐことができない、対策の難しい感染症であると認識している。そのような状況を理解いただいた上で、保護者の判断による予防接種を推奨しているが、経済的に困窮する家庭では毎年の接種を控えてしまうことも考えられる。接種経費の助成については、そのような家庭の経済的、心理的負担の軽減を図る観点からは一定の効果があると考えられる一方、対象者の範囲や助成額など課題がある。区としては、インフルエンザに罹患しないよう感染症予防策の十分な啓発、周知に努めていくとともに、費用助成については、予防効果の高い新たなワクチンが開発されるなど状況の変化を見据えながら、検討していく。

その他の質問項目

- 31年度予算編成について
- 東京女子医科大学東医療センター移転後の病院について
- 公有地の取得について
- 環境にやさしい乗物 都電を活かしたグリーンベルトについて



持続可能な自治体へ向けた  
施策と家庭教育支援行政の  
充実について

中村 尚郎 (公明党)

持続可能な自治体を目指すために

**問** これまで、新公会計制度の目的は、予算を組む段階から事業別、施設別などを単位として、「どう活用するか」ということが重要であると訴えてきた。そこで、2019年度予算編成にあたり、具体的に新公会計制度の財務情報を、どう活用し、どのような成果があったのか、区の見解を問う。

**答** 今回の予算編成では、新公会計制度を導入し、各職員がコスト意識を持って予算要求を進めたことで、活用の第一歩を踏み出せたものと考えている。今後も研修等を継続的に実施し、より効率的な区政運営に努めていく。

**問** これまで、「スクラップ&ビルド」という手法が用いられてきたが、今後は、まず重要な取り組みの実施を企画し、既存の事業の優先順位を並べ替え、廃止縮小を余儀なく行っていく「ビルド&スクラップ」という手法へ発想転換し、行財政改革を推進すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 議員提案の新たな手法は、事業の見直し等において有効な手段であると認識している。そのためには、社会環境や時代の要請に対応できる事業の優先順位の決定方法を定める必要があることから、今後検討を進めていく。

**問** 住民に一番近い所管で最適な判断を行うことのできる「部の自立経営」の推進を図るため、予算の一定規模の財源を政策の推進を司る各部の長に

配分し、その範囲内で、予算編成の権限と責任を移譲する、仮称「枠配分予算制度」の採用を提案するが、区の見解を問う。

**答** 提案の制度は、各部が自らの事業の財源を自らの責任で確保するという意識の浸透に大変有効であるが、予算の一体性等の課題もある。まずは現行制度の中で、提案の趣旨を踏まえた効果的な手法が取り得ないか、鋭意、調査研究していく。

家庭教育支援行政の充実について

**問** 保護者、学校、地域、関係機関等に期待される役割を規定し、区の責務を定め、区民みんなが連携、協力して家庭教育支援を推進していくという、仮称「荒川区家庭教育支援条例」を制定してはどうかと考えるが、区の見解を問う。また、様々な家庭教育支援事業の中でも、講座形式のセミナー・サロンタイプは参加へのハードルが高いという保護者もいる。そこで、アウトリーチ型(訪問型)の相談タイプやICT等の技術の活用が効果的と考えるが、区の見解を問う。

**答** 区としても、家庭教育への支援は、地域社会全体で取り組むべきと認識している。今後は、各種相談窓口や悩み事に応じたアウトリーチ型相談事業等の充実を図るとともに、ICTの更なる活用策として、子育て支援アプリ等により、妊娠・出産・育児の不安を解消するための取り組みを一層加速していく。さらには、家庭教育支援に関する条例化の検討も含め、未来の守護者である子どもたちが、明日への希望を持ち心豊かに育つよう、様々な課題の解決に向け全力で取り組んでいく。



◀子育て支援アプリの画面

その他の質問項目

- 教育行政の諸課題について



## 高齢者の暮らし応援と子どもの貧困の改善に向けた取り組みについて

横山 幸次 (共産党)

### 高齢者の暮らし応援について

**問** 空き家、銭湯、ひろば館等の地域資源を活用し、生活圏域の中に高齢者のみなさんが地域でつながる「コミュニティ」の場をつくる構想を策定することが必要と考えるが、区の見解を問う。

**答** 高齢者が相互にゆるやかにつながることのできる場所づくりは非常に重要なことと認識しており、今後も高齢者が地域で安心して生活が営めるよう積極的に取り組みを進めていく。

**問** 一人暮らし高齢者世帯が増加し、区の現在の体制では対応が困難である。困難ケースに継続的に対応するため、高齢者福祉課のケースワーカーの増員を行うべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 近年、困難ケースの増加に伴い、相談や訪問件数も増加していることから、来年度、ケースワーカーを1名増員する。これからも、ケースワーカー等の必要な人員配置を行っていく。

**問** 日本では公的補助が限定されており、欧米と比べ補聴器の普及が進んでいない。23区の少なくとも1区で実施している補聴器導入補助について、区としての検討状況と実施について、見解を問う。

**答** 現在は、障害者手帳の取得をご案内し、補装具としての給付を受けることを提案している。今後は、新たな機器の開発状況や他区の動向を調査・研究し、購入補助も引き続き検討していく。



◀ 区内の銭湯の様子

### 子どもの貧困の改善に向けた取り組みについて

**問** 現在、義務教育にかかる多くの費用は各家庭が支出し、子育て世代の大きな負担となっている。義

務教育完全無償化についてどう考えるのか、また、子どもの貧困のためにも就学援助の対象者の拡大に取り組むべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 義務教育においては、授業料のみならず、教材教具、消耗品及び備品等も公費で負担していることから、無償であると考えている。就学援助においては、現時点で対象者の拡大を行う考えはないが、今後も教育の機会均等を図っていく。

**問** 子どもの貧困対策を進めるには、実態調査が不可欠である。首都大学東京とも協力し、子どもの生活実態調査など実施するとともに、貧困の改善目標と結果に応じた対策の実施を行うことを求めるが、区の見解を問う。

**答** 昨年9月、子育て世代を対象にしたニーズ調査を行い、今後、ひとり親家庭に対する調査も実施する予定である。調査結果の分析を行い、さらなる貧困対策の推進を図っていく。

**問** 現在の子ども家庭支援センターを児童相談所に統合せず、引き続き機能させるとともに、各地域に子育てを支援する専門家を配置した相談窓口の設置が必要と考えるが、区の見解を問う。

**答** 子ども家庭支援センターと児童相談所の統合や保育園の子育て支援機能の強化により、安心して相談できる体制の構築を図っていく。

### その他の質問項目

- 政府の統計偽装、消費税増税について
- 自然現象を災害にしないために
- 公共空間での全面禁煙を柱にした受動喫煙防止条例制定の検討状況と区の決意について



## 3歳児健診における眼科検査と貧困の連鎖を断ち切るための取り組みについて

清水 啓史 (民主ゆい)

### 3歳児健診における眼科検査について

**問** 目の発育成長は8歳ごろに完成される。3歳児健診における目の屈折検査を既に実施している他自治体へ、昨年視察に行ってきた。区としての3歳

児健診における眼科屈折検査の必要性の認識を伺う。また、課題がクリアされるのであれば、検査を実施する考えはあるのか。

**答** 3歳児健診における眼科検査の課題は、日本人での基準値がまだ決められていないことである。この検査法の有用性は認識しており、日本人の基準の設定の動向を踏まえつつ、実施に向けて検討を進めていく。



3歳児健診を行っている  
荒川区がん予防・健康づくりセンター

### 貧困の連鎖を断ち切るための取り組みについて

**問** 貧困の連鎖を断ち切るには、これからの社会を担う子どもたちを応援していくことが重要であり、子どもたち自身の未来を拓き、将来一人ひとりが能力を発揮できるようになることが、社会全体を支えていくことにつながる。貧困の連鎖を断ち切るための取り組みについて、区の見解を問う。

**答** これまでの取り組みの推進に加え、今後も子育てや福祉、教育など関連する区政のすべての分野において、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう、全庁が一丸となって、子どもの貧困の解消に取り組んでいく。

### その他の質問項目

- 位置指定道路の活用について
- 生活保護世帯の大学進学に伴う世帯分離について



児童虐待による不幸の増大・連鎖を断ち切るための施策と筋の通った持続可能な福祉・保健制度について

小坂 英二（日本創新党）

### 児童虐待による不幸の増大・連鎖を断ち切るために

**問** 虐待を受けた児童が成人した後、全員へカウンセリングを実施する取り組みを始めてはどうか。

**答** 慎重に検討する必要があると考えているが、関係部署と連携を図り対応していく。

**問** 児童虐待加害者へのカウンセリングを具体的にどう行うのか。区の見解を問う。

**答** 専門団体との協働も視野に入れ、尽力する。

**問** 各部署の窓口対応の職員へ心理学の研修を十分行い、不適切対応の発生防止をすべきと考える。

**答** ロールプレイング等の研修や、職員へのカウンセリング等適切な対応ができる体制を整えている。



荒川区立子ども家庭支援センター

### 筋の通った持続可能な福祉・保健制度を！安心の地域社会へ

**問** 生活に困窮した外国人は大使館に対応を求めべきであり、生活保護支給は廃止すべきである。

**答** 今後とも制度の適正な運用に努めていく。

**問** 結核菌を保持した職員への対応を改め、安全確保のために就労を制限すべきと考える。

**答** 法に基づくルールに則り、結核患者等の人権を尊重しつつ、今後も適切な対応に努めていく。

**問** 日本語学校建設に総量規制をすべきと考える。

**答** 法令等の基準に適合した日本語学校の設置について、区が規制することは困難と考えている。

### その他の質問項目

- 教育、子育て支援策のあるべき姿に向けて
- 有害なものへの補助を断ち切る勇気を



## 東京女子医大東医療センター移転と働き方改革について

藤澤 志光(自由民主の会)

### 東京女子医大東医療センター移転について

**問** 東医療センターの土地・建物の買収にあたり、建物は無償ではないと引き取らない、との立場を打ち出すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 今後、荒川区財産価格審議会による評価や相手方における所定の手続きを経て、適正な価格により取得等をしていきたい。

**問** 移転後の東医療センターと新病院が連携し、区民の医療が継続できるようにすべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 新病院は移転後の東医療センターと積極的に連携を図っていく予定であり、区としても、円滑な医療のため、必要な働きかけを行っていく。

**問** 新病院において、夜間救急、周産期医療及び重症小児医療等に不安を残さないように医療の充実を図るべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 良質な医療環境の整備が図られるよう、今後、新病院の事業者等としっかり協議を行っていく。



移転する東京女子医科大学東医療センター

### 働き方改革について

**問** 区の業務システムを改善し、労働生産性を高め、サービスの充実を図るべきと考えるが、働き方改革に関する取り組みについて、見解を問う。

**答** 「荒川区職員ワーク・ライフ・バランス推進計画」の取り組みや、保育園入園審査等への先進技術の活用に向けた取り組みを今後も継続していく。

### その他の質問項目

- 認知症対策について
- アルコール依存症について



## 生きる力を高める教育保育と区民の防災力を高める施策について

瀬野 喜代(市民の会)

### 生きる力を高める教育保育について

**問** 生きていくためには「家事、金銭管理、相談」の3つの力が重要であると考えますが、区として、子どもたちにどのような教育を行っていくのか。

**答** 子どもたちが生きる力を身に付け、生涯幸福でより良い生活が送れるよう、引き続き取り組む。

**問** 6年生までに自分でお弁当を作ることができる力を育む取り組みを区内で展開したらどうか。

**答** 「お弁当の日」の取り組みとして、「お弁当レシピコンテスト」の充実等、食育を推進する。

**問** 幼児期からの「NOと言う、逃げる、相談する」力をつける教育保育のカリキュラムをつくることを区として取り組んではどうか。区の見解を問う。

**答** 荒川区就学前教育プログラムを各園で実施し、家庭版もホームページ等で公開している。



荒川区就学前教育プログラム「わくわくえがお荒川の子」

### 区民の防災力を高める施策について

**問** 区が積極的に提案していく等、マンションの防災訓練を消防署と区が連携して行ってはどうか。

**答** 消防署と緊密な連携を図り、消防訓練の実施を促すなどマンションの防災力向上に努めていく。

**問** 福祉避難所を確実に運営していくため、災害時要配慮者支援ボランティアリーダー養成講座を区が開催してはどうか。区の見解を問う。

**答** 現在、要配慮者を支援するボランティアの体制づくりを進めており、今後も充実に努める。

### その他の質問項目

- 一人会派の議員には区長は答弁しないという慣例の根拠について



## 産業振興と観光推進の取り組みについて

服部 敏夫 (自民党)

### 産業振興について

**問** 現代のSNS時代の環境を最大限生かし、区の魅力を更に多くの人に伝えられないか。今、観光客や消費者の行動の大きな決め手となっているのが口コミであり、内外の人が口コミを活用しやすい環境の整備を図ってはどうか。より戦略的に観光や商業等の情報発信の方法を考えるとともに、ホームページの多言語化など積極的に拡大していくことが重要と考えるが、区の見解を問う。

**答** 区では、来年度に迅速かつ手軽に観光情報にアクセスできるアプリの開発を計画しており、訪れた方が発信するSNSの情報が新たな観光客を呼び込む好循環を創出できるよう、積極的に施策を展開していく。また、現行の区公式ホームページでは、英語、中国語、韓国語の3か国語に対応しており、更なる多言語化について可能性を検討していく。

**問** インターネットが普及し、情報の検索や共有の面で、Wi-Fiを使える環境は魅力的である。世界の観光地では広範にWi-Fiスポットが整備されていることから、訪日外国人から、街なかでの整備を求める声が多く聞かれている。区内においても、日暮里繊維街周辺やあらかわ遊園等、人が多く集まる場所にWi-Fiスポットを整備できないか。区の見解を問う。

**答** Wi-Fiは外国人旅行客の利便性向上には欠かせないサービスとなっている。提案のあった日暮里繊維街は、日暮里駅構内の日暮里観光案内所と併せて整備を進めていきたいと考えている。さらに、(仮称)日暮里地域活性化施設やリニューアルするあらかわ遊園でのWi-Fiサービスの導入についても検討を行い、利便性の向上を図っていく。

### 環境推進の取り組みについて

**問** 環境配慮の取り組みの基本である3Rの派生形として、モノなどを共有して利用するシェアリン

グが一般化しつつある。そして、新しい動きとして、自転車を共有するシェアサイクルが、その手軽さにより、都市部を中心に急速に利用が拡大している。区内の自転車関連事業者へも配慮しつつ、環境にも優しいシェアサイクルの仕組みを導入することについて、区の見解を問う。

**答** 特別区等の全国の都市部においてシェアサイクルが一気に普及拡大している。区としては、シェアサイクルを導入することで、区民の利便性の向上のほか、まちの低炭素化にも貢献できると考えている。そのため、地元自転車関連事業者への配慮を行いつつ、地域特性を活かしたシェアサイクルの導入に向けた取り組みを進めていく。

**問** 昨年10月、資源の持ち去り行為に対する罰則を含めた条例改正を行うとともに、多方面への周知、啓発を行い、対策の推進に向けた体制整備を更に充実させた。一方で、資源価格の高騰があれば、持ち去り行為が増加するとの懸念の声も聞かれる。条例施行後、持ち去り対策についてどのような取り組みを行い、今後、実効性を高めていくためにどのように取り組んでいくのか。

**答** 昨年の条例改正で、登録事業者以外による資源の収集運搬を禁止し、違反行為に対して罰則を設けた結果、一定の抑止効果とともに、区民の資源や集団回収への関心が高まり、より詳細な持ち去りに関する情報が寄せられるようになった。警察等の関係機関と連携し、持ち去り行為の根絶に向けた取り組みを推進していく。



◀ 町屋駅前の駐輪場の様子

### その他の質問項目

- 荒川区版記念イヤーによる街づくり・人づくりについて
- 清里高原ロッジの冬季利用について
- 街の賑わいにつながる街づくりについて





## 子育て・教育の環境整備と 防災、巨大地震時の対策 について

斎藤 泰紀（自民党）

### 荒川区独自の子育て・教育の環境整備をすべき

**問** 乳幼児、子どもへの教育の基本は家庭であるが、保育園等に対する支援と比較をすれば、在宅子育て家庭への行政の支援や優しさを感じることは難しい。子育てへの選択肢をより広げられる環境を再構築してはどうか。また、認可保育園と私立幼稚園の環境整備への支援には歴然とした格差が生じているが、区の見解を問う。

**答** 子育て家庭へのニーズ調査の分析と並行し、区として対応可能な取り組みを検討していきたいと考えており、今後も安心して子育てできるよう、支援策の充実に努めていく。私立幼稚園についても、国や都の状況を注視しつつ、要望を丁寧に聞きながら、支援の充実に向けて検討していく。

**問** この4月から区立日暮里幼稚園で預かり教育が実施されることになったが、子育ての選択肢を広げていくためにも、更に預かり教育の実施幼稚園を増やしていく必要がある。そのためには、認証保育所の役割が更に重要となり、積極的な具体の支援が必要と考えるが、区の見解を問う。

**答** 認証保育所に対する支援について、今年度中に修繕費補助を開始する予定であり、ICT化に対する支援についても、予算の承認後、事業実施に向けた準備を加速していく。今後とも運営する事業者の声に耳を傾け、支援の継続に努めていく。

**問** 区では、児童、生徒が全員参加できる学校行事として清里と下田での移動教室があるが、課外活動や自然体験、他都市を訪問しての交流などは極めて価値のあることと考えている。宿泊体験を実施している小学校はあるが、今後、他の学校でも、体験と交流の環境整備に努めていただきたい。

**答** これらの他都市での体験活動は、子どもたちが、大自然の中で心身ともに大きく成長する機会となるだけでなく、都市と都市との交流を促進する機会

になると考えている。今後も、子どもたちの自然体験等の場を確保するとともに、他都市との交流を一層深められるよう取り組んでいく。

### 防災、巨大地震時の対策を早期に積極的に実施すべき

**問** 昨年、地域防災計画が改定され、その実効性を高めるため、「実施推進計画」を策定した。できるだけ時間を置かず、真に具体にするためには、どうしていくのか。また、一定期間生活を余儀なくされる前提で、避難所のあり方、環境整備等の再構築を期待したいが、区の見解を問う。

**答** 実施推進計画については、庁内の連携体制を一層強化して対策を推進する。避難所については、避難者の負担を軽減できるよう教室やふれあい館等も活用してスペースを確保し、環境整備の検討を進めるとともに、災害時相互応援協定締結自治体による避難者の受け入れについて協議していく。

**問** 防災対策において、道路整備・公園トイレ整備は極めて重要である。区内道路を排水性に優れた道路に整備できないか。また、都市計画道路補助第193号線について、荒木田交番から西側は拡幅整備が決定したが、東側も同様に整備できないか。さらに、超節水型・災害時トイレを区内7地区に設置してほしいが、区の見解を問う。

**答** 排水性舗装については、今後整備する都市計画道路において、導入を検討していく。都市計画道路補助第193号線の尾竹橋通りから東側の区間の整備については、都や足立区と連携し検討していく。災害対応トイレについては、現在行っている実証実験の結果を検証しながら、区内各地域への導入の可能性について検討していく。



▲ 藍染公園にある  
災害対応トイレ

### その他の質問項目

- 区政経営と行政改革について
- ワクワクする魅力を備えた施設づくりについて

# 委員会活動の報告

(※12月22日～3月31日)

## 議会運営委員会

志村 博司 委員長

1月29日

### ◆2月会議について

- ①2月会議・初日の開会日について
- ②提出予定案件について
- ③2月会議の会議期間について
- ④一般質問等の締切日について
- ⑤提出議案説明のための委員会開会について
- ⑥2月会議の会議期間に係る日程について
- ⑦予算に関する特別委員会の設置について

### ◆陳情審査

- 平成30年度第7号陳情  
陳情書署名欄の記入規定緩和を求める陳情

2月13日

### ◆2月会議について

- ①追加議案の提出について
- ②議員提出議案の提出について
- ③陳情書の受理について
- ④2月会議の会議期間について
- ⑤議事日程について
- ⑥一般質問について
- ⑦2月14日の本会議の議事の取り扱い及び順序について 等

3月13日

### ◆2月会議の最終日について

- ①議事日程について
- ②明日の本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ③2月会議の終了について

### ◆今後の議会日程について



▲本会議の様子

# 常任委員会

## 総務企画委員会

並木 一元 委員長

1月9日

### ◆所管事務事業説明

- 第43回荒川区政世論調査結果について

### ◆行政視察の集約について

2月1日

### ◆2月会議提出予定案件について

- ①平成31年度荒川区一般会計予算について
- ②平成30年度荒川区一般会計補正予算（第4回）について
- ③荒川遊園観覧車等新設工事に係る請負契約の締結について
- ④荒川区職員定数条例の一部改正について

### ◆所管事務事業説明

- ①都区財政調整協議結果について
- ②荒川区商業事業者訪問支援事業の結果報告について
- ③私債権にかかる債権管理の取組状況について
- ④あらかわ区政経営戦略プラン（平成31年度版）の策定について

2月20日

### ◆付託された議案について

- ①議案第43号 荒川区職員定数条例の一部を改正する条例
- ②議案第53号 平成30年度荒川区一般会計補正予算（第4回）
- ③議案第58号 荒川遊園観覧車等新設工事請負契約 等

### ◆委員会付託事項

- ①新たに付託された陳情について
- ②陳情審査



▲工事前のあらかわ遊園観覧車

**文教・子育て支援委員会**

茂木 弘 委員長

1月10日

## ◆所管事務事業説明

- 朝日信用金庫東尾久支店の一部を活用した保育所の整備について

## ◆行政視察の集約について

2月4日

## ◆2月会議提出予定案件について

- ①平成31年度荒川区一般会計予算について  
【文教・子育て支援委員会関係】
- ②荒川区児童育成手当条例の一部改正について
- ③荒川区ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正について 等

## ◆所管事務事業説明

- ①清里高原ロッジにおける冬季開設の試行について
- ②荒川遊園改修に係る建物の基本設計について

2月21日

## ◆付託された議案について

- ①議案第44号 荒川区立保育所条例の一部を改正する条例
- ②議案第45号 荒川区児童育成手当条例の一部を改正する条例 等

## ◆陳情審査

## ◆所管事務事業説明

- 荒川区立小・中学校における働き方改革プラン(案)について 等

3月27日

## ◆所管事務事業説明

- (仮称) 荒川区子ども家庭総合センター [荒川区児童相談所]設置計画(案)について 等



▲朝日信用金庫東尾久支店

**福祉・区民生活委員会**

松田 智子 委員長

1月9日

## ◆陳情審査

- 平成29年度第10号陳情  
2017年度インフルエンザHAワクチン供給に係る対応に関する陳情書 等

## ◆所管事務事業説明

- 旅館業法に関する荒川区ルール(荒川区旅館業法施行条例関係)改正にかかるパブリックコメントの実施結果について

## ◆委員会付託事項

- 新たに付託された陳情について

2月1日

## ◆陳情審査

- 平成30年度第10号陳情  
持続可能な新たな制度「(仮)人と猫との共生社会推進サポーター」の創設に関する陳情 等

## ◆2月会議提出予定案件について

- 普通財産の貸付けに係る議決の一部変更について 等

## ◆所管事務事業説明

- 高齢者等緊急冷房機等購入助成について

## ◆行政視察の集約について

2月20日

## ◆付託された議案について

- 議案第47号 荒川区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例 等

3月12日

## ◆付託された議案について

- 議案第65号 荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例



▲区内の飼い主のいない猫の様子

## 建設環境委員会

小島 和男 委員長

1月10日

### ◆陳情審査

- 平成30年度第9号陳情  
宮前公園内図書館建設工事中止への陳情書

### ◆所管事務事業説明

- 西日暮里駅前地区再開発事業の進捗状況について

2月4日

### ◆陳情審査

- 平成30年度第3号陳情  
日暮里駅南口における喫煙所の改善に関する陳情書

### ◆2月会議提出予定案件について

- ①荒川区道路占用料等徴収条例の一部改正について
- ②荒川区立公園条例の一部改正について
- ③荒川区従前居住者用住宅条例の一部改正について

### ◆所管事務事業説明

- 「荒川区住宅マスタープラン」の素案に関するパブリック・コメントの実施結果について

### ◆行政視察の集約について

2月21日

### ◆付託された議案について

- 議案第50号 荒川区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例 等

### ◆所管事務事業説明

- 不燃化特区事業の進捗状況と今後の取組みについて



▲日暮里駅南口喫煙所

## 特別委員会

### 震災・災害対策調査特別委員会

服部 敏夫 委員長

1月16日

### ◆区外視察

- 龍Q館(首都圏外郭放水路)(埼玉県春日部市)  
・世界最大級の地下放水路について

1月23日

### ◆調査研究事項

- ①土砂災害ハザードマップの作成について
- ②荒川区災害時給水方針(案)の策定について

### ◆行政視察の集約について



▲龍Q館にて研修の様子

### 健康・危機管理対策調査特別委員会

保坂 正仁 委員長

2月12日

### ◆調査研究事項

- ①東京女子医科大学東医療センター移転後の病院誘致に係る事業者の決定について
- ②鳥インフルエンザA(H7N9)のヒトへの感染の状況について

3月28日

### ◆調査研究事項

- 病院の整備及び運営に関する覚書の締結について



▲移転が決定している  
東京女子医科大学東医療センター

## 財政援助団体調査特別委員会

明戸 真弓美 委員長

1月22日

### ◆調査研究事項

○荒川区社会福祉協議会について

### ◆行政視察の集約について



▲荒川区社会福祉協議会

## 採択した請願・陳情

### 趣旨採択

- ・2017年度インフルエンザHAワクチン供給に係る対応に関する陳情書
- ・臓器移植の環境整備に関する意見書の提出を求める陳情書
- ・持続可能な新たな制度「(仮)人と猫との共生社会推進サポーター」の創設に関する陳情
- ・日暮里駅南口における喫煙所の改善に関する陳情書
- ・55歳以上の求職者が就職活動をしやすい環境を求める陳情書

## 平成31年 区長の施政方針説明

(一部抜粋・要旨)

西川区長から、2月14日の2月会議初日の本会議において、施政方針説明が行われました。

荒川区は、区民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、お困りの方には適切に手を差し伸べるため、区政の各分野において全国の自治体をもリードする施策等を実施してまいりました。こうした継続的な取り組みが着実に実を結び、今日では、荒川区は、「暮らしやすい街」「子育てしやすい街」などの高いご評価をいただくようになり、一時期18万人を下回った人口も21万6千人を数えるまでになっております。今後、新たな時代を迎えるに当たりましても、これまでの取り組みを更に充実させ、街の至る所に笑顔があふれ、区民の皆様に幸せを実感していただけるよう、全力で取り組んでまいります。

平成31年度予算は、そのような思いの下で、「輝く未来の礎予算」として、区民の皆様の安全安心のための防災・減災の取り組みの充実、福祉・子育て・教育環境の充実、産業・文化・スポーツ分野における施策の推進、地域コミュニティ活性化のための環境整備等を具体化するために編成したものです。

この荒川のまちをより良い形で次代につないでいくためにも、私は、全職員の先頭に立ち、区民サービスの更なる充実や質の向上に向けて、力の限り、取り組んでまいります。区議会並びに区民の皆様におかれましては、より一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



▲区長の施政方針説明の様子

# 平成31年度 予算を可決

平成31年度一般会計予算ほか3特別会計予算は、議長を除く全議員で構成される「予算に関する特別委員会」（委員長＝菅谷元昭、副委員長＝中村尚郎）を設置し、2月25日から3月11日まで審査を行い、いずれも可決されました。



▲委員長挨拶の様子

## 予算の審査経過

2月25日

### 一般会計予算

○予算大綱説明（副区長）

○総括質疑（7会派）

※主な質問項目は別掲

○歳出審査（議会費・総務費）

2月27日

○歳出審査（総務費）

2月28日

○歳出審査（総務費・民生費）

3月4日

○歳出審査（民生費）

3月5日

○歳出審査（民生費）

3月7日

○歳出審査（衛生費・環境清掃費）

3月8日

○歳出審査（環境清掃費・産業経済費・土木費）

3月11日

○歳出審査（教育費・公債費・諸支出金・予備費）

○歳入審査（一括審査）

○採決

修正案（共産党提出）

採決の結果 否決

原案

採決の結果 可決

### 国民健康保険事業特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算

○審査

○採決 採決の結果 可決

### 介護保険事業特別会計予算

○審査

○採決 採決の結果 可決

## 平成31年度 予算の概要

年度区分		平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増減	増減率
会計区分					
一般会計		1022億9,000万円	995億円	27億9,000万円	2.8%
特別会計	国民健康保険事業	246億2,800万円	257億8,500万円	△11億5,700万円	△4.5%
	後期高齢者医療	50億2,800万円	49億1,100万円	1億1,700万円	2.3%
	介護保険事業	174億9,500万円	167億2,900万円	7億6,600万円	4.5%
計		1,494億4,100万円	1,469億2,500万円	25億1,600万円	1.7%

# 主な総括質疑

自民党

**並木 一元 委員**

- 不燃化特区の進捗や見通しと町屋・尾久地区の改善に向けた事業推進について
- 区内産業を取り巻く状況や課題と設備投資補助制度の利用状況について
- 児童相談所の設置について

自民党

**中島 義夫 委員**

- 児童相談所の職員体制について
- 児童相談所におけるケースの引き継ぎや学校との連携について
- 金融教育について

公明党

**森本 達夫 委員**

- 児童虐待防止における警察との連携や子どもの安全確認の方法について
- 子ども家庭総合支援拠点について
- 一時保護所と児童養護施設の役割について
- 里親制度の充実について

共産党

**小林 行男 委員**

- 消費税の増税における認識について
- 来年度の国保料金の引き上げや子どもの均等割について
- 高齢者の居場所づくりや元気な高齢者の活躍の場について

民主ゆい

**清水 啓史 委員**

- 日暮里駅及び周辺的环境改善について

日本創新党

**小坂 英二 委員**

- 区内朝鮮学校への補助金や中国との都市交流について

自由民主の会

**藤澤 志光 委員**

- 東京女子医科大学東医療センターの土地・建物の取得方法について

市民の会

**瀬野 喜代 委員**

- 区内小中学校における不登校児童や生徒の人数と対応の状況について



▲区長答弁の様子



▲委員会室の様子

# 平成31年度予算をこう評価する

3月14日の本会議において、平成31年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

地域と区民が輝く未来の礎となるよう一層努力していただくことを要望し、賛成

自 民 党



自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成にあたり、区民生活が少しでも向上し、安心・安全に暮らすことのできる街づくりを目指し、12の重点項目をはじめとした、290を超える事項について、積極的に推進していくよう要望した。

区はこの要望を踏まえ、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分する一方、内部努力の更なる徹底や事務事業全般にわたる再点検・見直しを図り、予算規模は1022億9000万円と、当初予算では過去最大規模となっている。これは、今後の行政需要に的確に対応するため、中長期的な視点で健全な財政を維持すべきという強い決意のもと、抑制できるものは可能な限り抑制する一方、我が党が要望した重点施策等を推進していくための新規事業やレベルアップ事業が積極的に組み入れられており、改めて予算編成にあたっての区の努力を高く評価する。

主な施策について述べると、震災対策では区立小中学校等の体育館へのエアコン設置や不燃化特区における整備の加速、子育て支援では0歳児からの11時間保育の区立保育園での実施や区立日暮里幼稚園での預かり教育、区立児童相談所の開設に向けた職員体制の整備、施設の整備ではあらかわ遊園の大規模改修、産業振興では小規模事業者経営力強化支援事業の継続と対象拡大による新たな展開、公衆浴場振興及び観光振興施策としての銭湯マップの作成支援等を高く評価する。

これらの他にも、我が党は予算に関する特別委員会における質疑を通じて、各分野の施策や事務事業に関して、指摘、要望を行った。主なものを挙げると、防犯カメラのPRや空き交番対策、町会等への

バルーン型投光器配備支援の検討、行政コスト計算書の表示改善及び活用、避難所生活を長期化させないための万全対策、防災部署に限らず意識・思い・行動を全庁で共有した他都市との交流、職員による避難所体験訓練、区全体での積極的なAI等の導入検討、地域防災計画における密集市街地の分かりやすい目標設定、区民の読書活動を推進するインセンティブの検討、遺体安置所設置に係る対策の徹底、豪雨対策の充実、スポーツハウスリニューアルの実施、児童相談所設置に向けた万全な職員体制の整備と財源確保、後方支援病床の効果的展開、在宅育児家庭に対する支援の充実、手話言語条例の趣旨の更なる普及啓発、小児へのインフルエンザワクチン接種費用助成の検討、区民が望む内容を備えた病院の誘致、資源の持ち去り対策、閉鎖型喫煙所設置の検討、銭湯利用促進、紅葉橋工事の着実な検討及びJR東日本への負担・協力の要請、地域別ではない視点からのコミュニティバス路線の検討、学校図書館スーパーバイザーの増員、スクールロイヤー制度の導入検討、スクールサポートスタッフの早期拡充、特別支援教育の全中学校実施に向けた拠点校の早期検討等である。



▲あらかわ遊園スポーツハウス

区においては、こうした我が党各議員からの意見や提案を真摯に受け止め、ぜひとも区政に反映するよう求める。

これらを踏まえ、新年度の予算執行にあたっては、地域と区民が輝く未来の礎となるよう一層努力することを要望し、また、自由民主党荒川区議会議員団も、執行機関との良き緊張関係を保ちつつ、今



後とも力強く西川区政を支えていくことを表明して予算案に賛成の討論とする。

区民生活の向上に一層の努力を要望し、賛成



公明党

平成31年度予算は、西川区長就任第4期目の3年目となる予算であり、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、子育て環境の整備、介護予防の充実、防災まちづくりの推進等、区民の安全安心のさらなる向上をはじめ、地域の経済や文化の活性化等に着実に取り組むことで、区民の幸福実感を一層高めていくという思いが込められたものと受け止めている。

一般会計の予算規模は1023億円となっており、総合スポーツセンターの大規模改修や児童相談所の開設準備費、私立保育園運営費の増等が主な要因となり、過去最大規模の予算となった。

私たち公明党荒川区議会議員団は、本予算の編成に先立つ昨年9月、日頃の区民相談で受けた要望を123項目の政策提言書「あらかわ公明ボイス123」としてまとめ西川区長へ提出し、首都直下地震への備え、高齢化による介護需要への備え、公共施設の老朽化への備えについて要望した。区は、この要望を受け止め、「輝く未来の礎予算」として本予算を編成したものと高く評価している。

具体的には予算の主要事業として「特殊詐欺根絶対策の強化として、自動録音機の設置拡大や高齢者の集まる場所での意識啓発」、「ごみ削減対策の推進として、食品ロス対策の周知徹底」、「認知症予防対策の拡充として、認知症対応型介護施設の充実」等々が予算化されており、その他にも私たちの主張が幅広く取り入れられ、限りある財源を重点的・効果的に配分し、メリハリの利いた予算を編成したものとなっている。

さらに、私たちは予算に関する特別委員会においても、総括質疑における児童虐待防止への取り組みをはじめ、様々な要望や提案を行ってきた。区に

とって早急に検討すべき重要な課題であり、これらの提案・要望については、ぜひとも今後の予算執行等に反映し、区民生活の向上に一層の努力を要望して本予算案に賛成の討論とする。



▲自動録音機の設置を促すラッピングバス

区民のくらしが厳しいとき、くらし応援のために必要な財政出動を行うことこそ区民の切実な声に応える道である



共産党

本予算案が区民のくらしと営業を応援する予算になっているのかが問われるとの認識のもとで審議に臨んだ。

予算案に反対する第1の理由は、消費税10パーセント増税を容認する区の姿勢では区民に寄り添った予算編成ができないことである。区内中小業者が厳しい状況になっていることを区が把握しながら、軽減税率やプレミアム付商品券導入等混乱の多い対策を良しとする区の姿勢では、区民のくらしを守る立場に立つことはできない。

第2は、区民のくらし応援の対策が不十分である。相対的貧困状態にある子どもが7人に1人、母子家庭では約6割に達しており、高齢者のくらしは、消費税増税や年金削減、医療・介護の負担増等で大変厳しい状況に置かれている。

こうした中、我が党は、区民のくらしの応援のために、18才まで子ども医療費無料化、高齢者在宅介護応援手当の支給等6条例と約3億8千万円の予算修正案を提案した。区民の暮らしが厳しいとき、くらし応援のために必要な財政出動を行うことこそ区民の切実な声に応える道である。

第3は、学力テストやタブレットパソコンの配備など十分な検証に基づく施策の見直しが行われていない問題である。

第4は、区民が主人公の区政運営が不十分である。区議会は、認可保育園の0歳児の11時間保育実施を求める陳情を採択したが、区への対応は不誠実であり容認できない。

また、委員会審議を踏まえ、都に対する児童相談所設置に係る補助の要望、学童クラブの増設、区内事業者への補助率の大幅な引き上げ等を求め、反対討論とする。



▲保育園の様子

要望した施策の充実、実効性を  
図るよう取り組みを求め、賛成



民主ゆい

予算に関する特別委員会においては、予算編成にあたり示された①限られた財源を重点的かつ効果的に配分すること、②事務事業の再点検・見直しを図ること、③中長期的な視点に立った財政運営をすること、の3点の方針の基に適切に予算編成がされ、実効性のある施策が実施されるのか、との認識を持って審議に臨んだ。

賛成にあたり、予算に関する特別委員会で取り上げた点について改めて指摘をし、実現に向け要望する。

まず、日暮里駅紅葉橋の速やかなバリアフリー工事、また、閉鎖型喫煙所への変更、公立・私立問わず全保育園のメール配信、そして3歳児健診における眼科検査の充実を求める。

また、災害時、大切な通信機器となるMCA無線の配置基準の見直し、シェアサイクルの環境・観光の視点に立った積極的活用等々について質疑を行った。

以上申し述べた施策の充実、実効性を図るよう取り組みを求め、賛成の討論とする。



▲日暮里駅紅葉橋の様子

日本の経糸を守り引き継ぐ覚悟を持たず、世の中の風潮に流されて編成された予算案であり、反対



日本創新党

反対する理由は、日本の経糸を守り引き継ぐ覚悟を持たず、世の中の風潮に流されて編成された予算案だという点である。

日本国内の北朝鮮である朝鮮学校が対象の9割である外国人学校保護者補助金に約1700万円も予算を組んでいるのは、行政によるテロ国家支援に他ならない。

また、タブレットパソコンをすべての小中学校へ1人1台体制でばらまくことに毎年6億数千万円も出すことは、学力向上にも繋がらず教育をタブレット頼りに劣化させている。

家庭での子育て世帯への支援の乏しさ、区立園での0歳児への11時間保育の実施、結核蔓延事件を受けて体制を見直さない姿勢も容認できない。

以上申し述べた点を中心に、異議申し立てを行い、反対の討論とする。



▲区内小中学校で使用されている  
タブレットパソコン










# 議案の審議結果

平成 30 年度定例会・2 月会議  
○賛成 ×反対 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果	
	自 民 党	公 明 党	共 産 党	民 主 ゆ い	日 本 創 新 党	自 由 民 主 の 会	市 民 の 会		
<b>議員提出議案（6 件）</b>									
第 3 号	荒川区就学援助の実施に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第 4 号	荒川区高齢者入浴事業の実施に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第 5 号	荒川区高齢者在宅介護応援手当条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第 6 号	荒川区家具類の転倒及び落下防止器具設置等の助成に関する条例	×	×	○	○	×	×	×	否決
第 7 号	荒川区住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第 8 号	荒川区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
<b>区長提出議案（24 件）</b>									
第 43 号	荒川区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
第 44 号	荒川区立保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 45 号	荒川区児童育成手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 46 号	荒川区ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 47 号	荒川区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 48 号	荒川区地域包括支援センターが実施する包括的支援事業の人員等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 49 号	荒川区旅館業法施行条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 50 号	荒川区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 51 号	荒川区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 52 号	荒川区従前居住者用住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 53 号	平成 30 年度荒川区一般会計補正予算（第 4 回）	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 54 号	平成 31 年度荒川区一般会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 55 号	平成 31 年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
第 56 号	平成 31 年度荒川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
第 57 号	平成 31 年度荒川区介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
第 58 号	荒川遊園観覧車等新設工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 59 号	普通財産の貸付けについての一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 60 号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 61 号	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 62 号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 63 号	（仮称）新尾久図書館建築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 64 号	（仮称）日暮里地域活性化施設建築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 65 号	荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
同意 第 3 号	荒川区監査委員の選任同意について（齋藤暢生氏）	○	○	○	○	○	○	○	同意

# 全国の議会が視察に訪れています

1月～3月の間、9団体の行政視察を受け入れました。

日程	視察受入議会名	主な視察項目
1月 16日	 鹿児島県鹿児島市議会	ゆいの森あらかわについて
17日	 島根県浜田市議会	荒川区民総幸福度について
18日	 愛媛県新居浜市議会	①タブレット PC の全小中学校導入について ②ゆいの森あらかわについて
19日	 愛媛県新居浜市議会	ゆいの森あらかわについて
22日	 青森県青森市議会	①タブレット PC の全小中学校導入について ②ゆいの森あらかわについて
23日	 鹿児島県奄美市議会	食品ロスへの取り組みについて
30日	 福島県福島市議会	ICT 教育の取り組みについて
2月 5日	 兵庫県たつの市議会	ゆいの森あらかわについて
8日	 愛知県犬山市議会	国保生活習慣病の重症化予防について



▲鹿児島県鹿児島市議会 様



▲福島県福島市議会 様



▲兵庫県たつの市議会 様

## 平成30年度は 56 件の視察を受け入れました 荒川区へお越しいただきありがとうございました

視察項目件数（上位 5 項目）	（件）
① ゆいの森あらかわについて	32
② タブレットを活用した学校教育について	12
③ 荒川区民総幸福度について	9
④ 子どもの貧困対策について	7
⑤ 防災関係について	3

月別視察受入件数				（件）
5月	5	11月	8	
6月	4	12月	0	
7月	9	1月	7	
8月	11	2月	2	
9月	1	3月	0	
10月	9	4月	0	

(※ 4月12日現在)